

「自閉症啓発デー2026 in 玉名」を開催しました!

4月2日は国連が定めた世界自閉症啓発デーです。厚生労働省および関係団体が協力して「自閉症」について広くご理解をいただくように取り組んでいます。わっふるでは、ここ数年北部圏域内の商業施設の一角をお借りして啓発イベントを開催しています。今年度は昨年に引き続き玉名市の「カーリーノ玉名」の会場をお借りし、パネル、関係作品、支援グッズ、書籍の展示に加えて、毎年好評の疑似体験のイベントを実施しました。昨年同様、疑似体験はペアレントメンターさん(※1)にお手伝いいただきました。4月4日、5日の2日間、約342人の来場があり、作品を見て「味がある作品ばかり!」「圧倒されました!」とお声や、疑似体験をして「実際に体験して、とても難しかった。当事者さんの気持ちをわかってなかったな、と感じた。」などのお声をいただきました。イベント開催にあたり、ご協力をいただいた関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

※ペアレントメンターとは、発達障がいの子を持つ親さんで子育ての経験を活かし、診断を受けて間もない親さんや悩んでいる親さんに対して共感的に話しを聴いたり情報提供をしたりされる親さんのことです。

以下に感想の一部をご紹介します。

- どの作品も個性豊かでのびのびと表現されていると思いました。
- 素敵でした。作品があることで「思い」や「何を感じられているか」など少しわかる気がします。
- 疑似体験を体験してみると、思ったより上手いかわず焦りました。子どもたちの気持ちが少しわかった気がします。
- 当事者の感じ方や見え方を知らないと、なぜ困っているのかわからないので、体験してみて良かったです。



ご来場
ありがとう
ございました♡



★各地の図書館での啓発★

自閉症啓発デーにちなんで、各市町村の図書館でも「自閉症コーナー」を設置していただきました。写真は「山鹿市図書館」の様子です。

ご協力ありがとうございました!

